

# 2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

---

2024年8月8日

株式会社INPEX（証券コード：1605）

# 目次

## 1. 事業活動報告

---

## 2. 「企業価値の持続的向上に向けて」 進捗状況

---

代表取締役社長  
**上田 隆之**

## 3. 2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明

---

## 4. 2024年12月期 業績予想

---

取締役 専務執行役員  
財務・経理本部長  
**山田 大介**

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

# 1. 事業活動報告

代表取締役社長  
**上田 隆之**

直近の外部環境  
(油価・為替等)においても、  
前期比で増益見込み

中間利益 (実績)  
2,125億円

上期 (実績)  
油価 : 83.4ドル  
為替 : 152.4円

当期利益 (通期見通し)  
3,600億円  
(前期比+11.9%)

下期 (前提)  
油価 : 76.6ドル (3Q:79ドル、4Q:74.2ドル)  
為替 : 143.6円 (期末為替:140.0円)

通期 (前提)  
油価 : 80.0ドル、為替 : 148.0円

配当金及び自己株式取得は  
過去最高

1株当たり年間配当金  
86円/株 (予想)  
(前期比+12円)

自己株式の取得  
1,300億円  
(今回800億円追加した結果、  
前期比+300億円)

## 上期

## 下期（見込み）

### 生産

#### イクシスLNG

- 権益比率の増加（66.245%→67.82%）
- 安定操業を継続、66隻のLNGカーゴを出荷
- 上期の利益貢献額は1,500億円

- 7月には一時的な生産トラブルがあったものの、生産再開済み。生産量は概ね回復
- 下期の利益貢献額は約850億円を見込み、通期の利益貢献額は約2,350億円

#### アブダビ 海上油田・陸上鉱区

- 安定操業と増産に向け生産能力の増強を継続

#### その他

- ACG油田アゼリ中東部新規生産プラットフォームより生産開始

- ノルウェーにおいて、既発見未開発油ガス田の開発検討を継続
- 新設子会社INPEX JAPANに国内O&G事業等を承継させ、機動的かつ効率的な事業推進を行う

### Pre-FID

#### アバディLNG

- FEEDの開始及びFIDに向けた活動を継続
  - ✓ 陸上及び海上の地盤調査・物理探査（開始済）
  - ✓ FEED実施に向けた入札活動（開始済）

### 探鉱

#### イクシス周辺

- AC/RL7鉱区（Cash Maple）等の開発に向けたスタディを継続
- AC/P66鉱区の3D震探収録を実施。評価・処理作業を継続

#### アブダビBlock4

- 試掘・評価井の掘削作業及び開発・生産フェーズ移行の可能性について評価作業を実施

#### その他

- ノルウェー王国PL636鉱区において油ガス層を発見
- マレーシアSK510鉱区（探鉱鉱区）の生産分与契約を調印
- ノルウェーにおいて新規探鉱鉱区取得に向けた応札を検討

## 上期

## 下期（見込み）

### 水素・アンモニア

- 新潟県柏崎市/ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験の地上設備建設は計画通り進捗。2025年8月の実証運転開始を目指し、建設を継続
- テキサス州ヒューストン港における大規模低炭素アンモニア事業のPre-FEEDを開始済み。FEEDへの移行を目指す

### CCS・CCUS

- ボナパルトCCSプロジェクト(GHGアセスメント鉱区：G-7-AP)における新規3D震探収録及び処理作業を実施。引き続き3D震探処理作業を継続しつつ、評価井掘削作業も実施
- 「首都圏CCS」および「日本海側東北地方CCS」が、JOGMEC委託事業「先進的CCS事業の実施に係る設計作業等」に選定。今後は、貯留地の試掘準備、地上設備のFEEDを実施予定

### 再生可能エネルギー

- EGPA社の株式取得後では初となるクォーンパーク太陽光・蓄電池プロジェクトのFIDを実施
- 豪州においてEGPA社が建設中のギガレ太陽光発電事業の2025年初頭の稼働に向けた試運転継続、また複数の潜在プロジェクトの開発を推進

### カーボンリサイクル・新分野

- 2026年初頭の試運転開始を目指し、新潟県長岡市におけるメタネーション試験設備（400Nm<sup>3</sup>/h）の建設を着実に推進

### 森林保全

- 新たな森林クレジット獲得・創出に向けた活動の推進
- カーボンオフセット商品（ガス・ジェット燃料等）の販売

## 2. 「企業価値の持続的向上に向けて」進捗状況

代表取締役社長  
**上田 隆之**



2023年8月に「企業価値の持続的向上に向けて」を公表し、各種取組みを実施

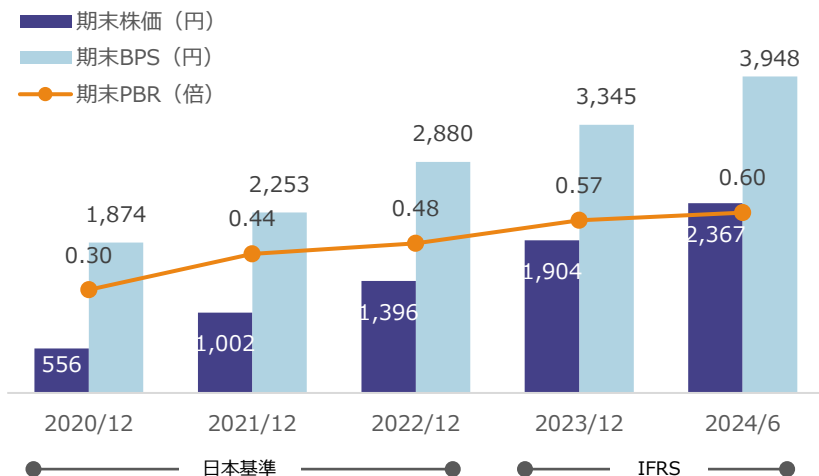
## ディスカウント要因（当社分析）

- 収益性の改善余地
- 座礁資産化リスク
- 株主還元への不透明感

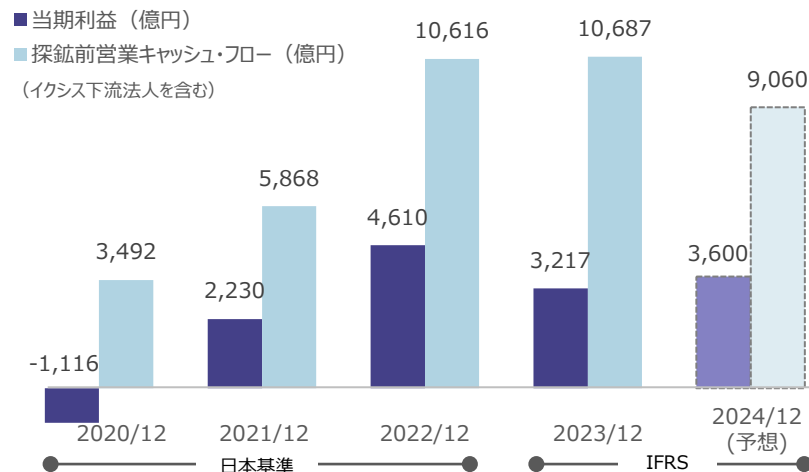
## 取組み

- 資本効率の向上
- 将来事業成長への信認獲得
- 株主還元・投資家対話の強化

## 株価及びPBR推移



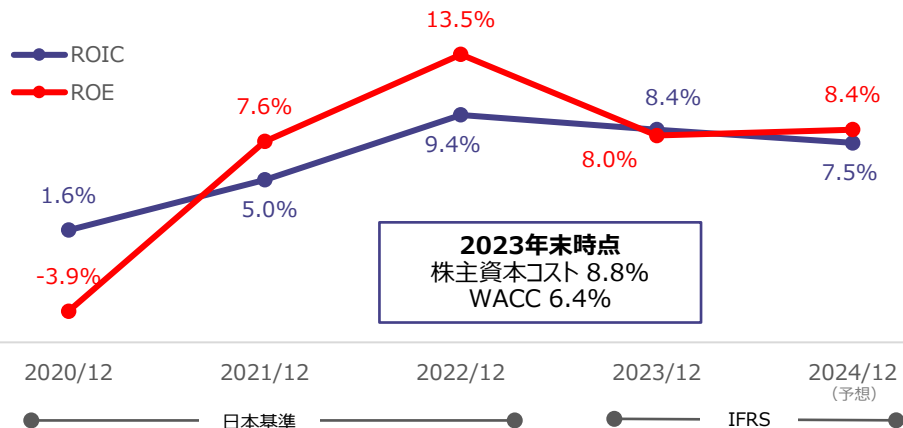
## 業績推移



### ■ ROICの導入及びセグメント別ROICの開示

- 2023年8月より管理指標としてROICを導入し、同年11月開催のInvestor Dayにてセグメント別ROICを初開示
- 2023年12月期はWACCを上回るROICを達成。2024年12月期のROICは7.5%の見通し
- ROE及び株主資本コストを意識しつつ、今後も各事業においてWACCを上回るROICの達成を目指す

ROE、ROICの推移



### ■ 着実な利益成長

- 2024年度の当期利益は前期比+11.9%増となる3,600億円の見通し

### ■ コスト削減

- 生産コスト\*は今期予想5.6ドル。現在のインフレ状況下においても、昨年と同程度の水準を維持

\*原油換算1バレル当たりの平均コスト（ロイヤリティ除く）

### ■ 資本政策

- 株主還元の強化（p.12参照）
- ネットD/Eレシオが概ね0.3-0.5の範囲内で推移するよう、適切にレバレッジをコントロール
- 2024年度中間期時点におけるネットD/Eレシオの期末見込みは0.33（p.18参照）

## ■ 石油・天然ガス分野の成長

### イクシスLNG (操業中)

- **安定操業を継続**
- 930万トン生産を目指す（設備能力は構築済み）
- **周辺鉱区を取得し、収益基盤の強化を推進**
- 2030年代の第3トレイン拡張に向け、評価作業を継続

### アバディLNG (FID前)

- 天然ガスは**アジアにおける堅調な需要**が見込まれる
- **10%台半ばのIRRの確保**を目指す
- 2030年頃の生産開始に向け、**サーベイ等の準備作業**を実施中

## ■ CCSによる石油・天然ガス分野の座礁資産化リスク低減

- CCS向けGHGアセスメント鉱区の**震探収録、掘削作業の実施**
- **日本からのCO2受入も視野**に、豪州北部準州政府によるダーウィンCCUSハブ構想への貢献を目指す
- CCS導入により、同ガス田の生産ガスに付随する**CO2の全量を削減予定**
- 将来的には**CCSハブ化**も検討

## ■ 再生可能エネルギーの安定収益化

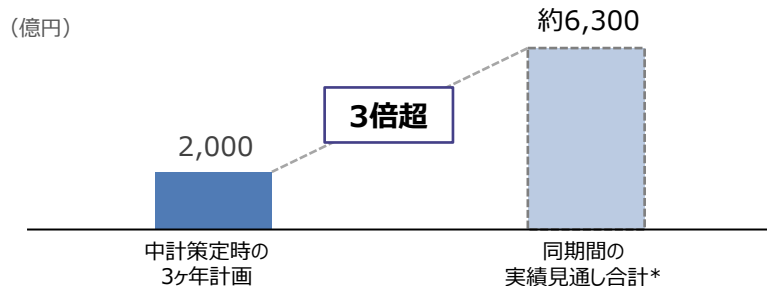
- EGPA社の株式取得後では初となる**クォーンパーク太陽光・蓄電池プロジェクトのFIDを実施**
- 引き続きEGPA社が保有する既存ポートフォリオの運営に携わると共に、更なる発電容量の拡大を目標として**収益性の高い新規アセットを選別・開発する**

## ■ CCS・水素事業等の推進による将来の成長機会の追求

- 政府支援を獲得しつつ**2030年頃までの操業開始**を目指す
  - テキサス州ヒューストン港における低炭素アンモニア事業
  - 首都圏CCS事業、日本海側東北地方CCS事業 等

## ■ 株主還元の強化

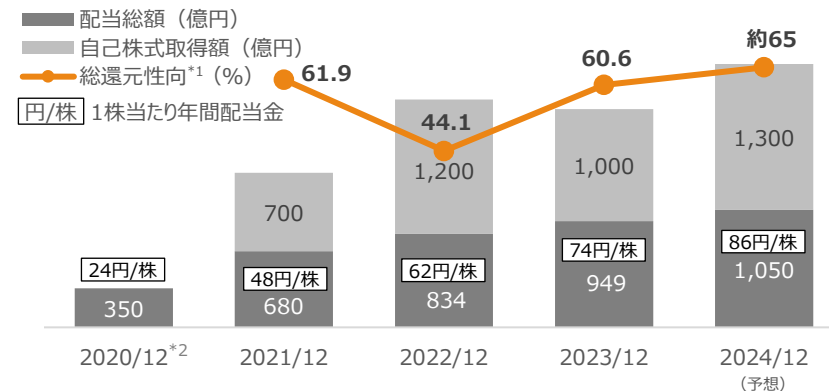
### 2022-2024年度の株主還元



- 株主還元を中計策定時の計画から大幅に強化（資金配分の詳細はp.25-26参照）

\* 2022年度及び2023年度の実績に2024年度予想を加えたもの

### 株主還元の推移



\*<sup>1</sup> 総還元性向は、2023/12以降はIFRSベース

\*<sup>2</sup> 純損失のため総還元性向は該当なし

## ■ 機関投資家との対話の強化

- Investor Dayの開催
- 経営陣による対話機会の拡充
- 国内外カンファレンスへの積極的な参加
- コロナ禍でオンライン開催となっていた海外IRの再開
- 海外施設見学会の実施

## ■ 個人投資家向けIRの強化

- オンラインを含む個人向けIR説明会を積極的に開催
- 国内施設見学会の実施

	2023年度 実績	2024年度 前回発表予想 (2024年5月14日)	2024年度 今回発表予想 (2024年8月8日)
1株当たり年間配当金	74 円	76 円	86 円
配当総額	949 億円	約 940 億円*2	約 1,050 億円*2
自己株式の取得	1,000 億円	500 億円	1,300億円 (今回追加 800 億円)
総還元額	1,949 億円	約 1,440 億円	約 2,350 億円
総還元性向	60.6%*1	約 40%	約 65%

\*1 IFRSベース。日本基準では52.5%。

\*2 自己株式取得後の配当総額見込み。

- 足許の株価が割安な水準と認識していることに加えて、昨年8月に公表した「企業価値の持続的向上に向けて」を鑑み、また、2024年12月期の通期業績予想が堅調であることから、自己株式の追加取得と大幅な増配を決定。
- 自己株式取得額（年間）、1株当たり年間配当額のいずれについても、当社過去最高。

## 3. 2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明

取締役 専務執行役員  
財務・経理本部長  
**山田 大介**

	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率
期中平均油価（ブレント）（\$/bbl）	79.91	83.42	3.50	4.4%
期中平均為替（¥/\$）	134.99	152.36	17円37銭円安	12.9%円安
売上収益（億円）	10,789	11,908	1,118	10.4%
営業利益（億円）	6,072	7,000	928	15.3%
税引前中間利益（億円）	7,095	7,132	37	0.5%
親会社の所有者に帰属する中間利益（億円）	2,484	2,125	△ 359	△ 14.5%
基本的1株当たり中間利益*（円）	190.27	169.26	△ 21.01	△ 11.0%

\* 2023年12月期中間期 期中平均株式数：1,306,002,898株、2024年12月期中間期 期中平均株式数：1,255,990,910株

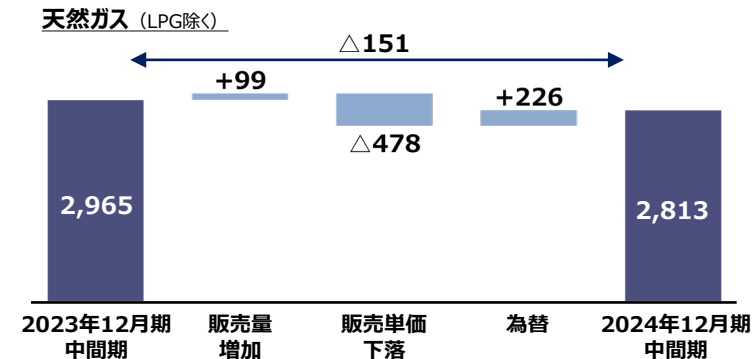
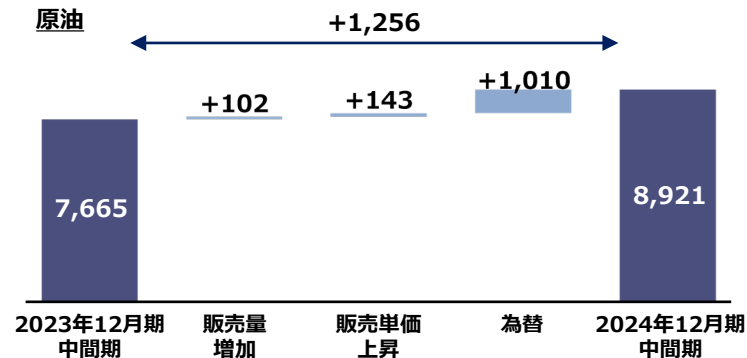
## 売上収益・販売量・販売単価・為替

		2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率
原油	売上収益 (億円)	7,665	8,921	1,256	16.4%
	販売量 (千bbl)	69,701	70,635	934	1.3%
	海外平均単価 (\$/bbl)	81.44	82.92	1.48	1.8%
	平均為替 (¥/\$)	135.04	152.34	17円30銭 円安	12.8% 円安
天然ガス (LPG除く)	売上収益 (億円)	2,965	2,813	△ 151	△ 5.1%
	販売量 (百万cf)	249,555	258,874	9,319	3.7%
	海外平均単価 (\$/千cf)	6.02	5.61	△ 0.41	△ 6.8%
	国内平均単価 (¥/m <sup>3</sup> )	102.18	76.74	△ 25.44	△ 24.9%
	平均為替 (¥/\$)	134.88	152.65	17円77銭 円安	13.2% 円安

\* 1m<sup>3</sup>当たり041.8605MJ

## 売上収益 要因別分析

(単位：億円)





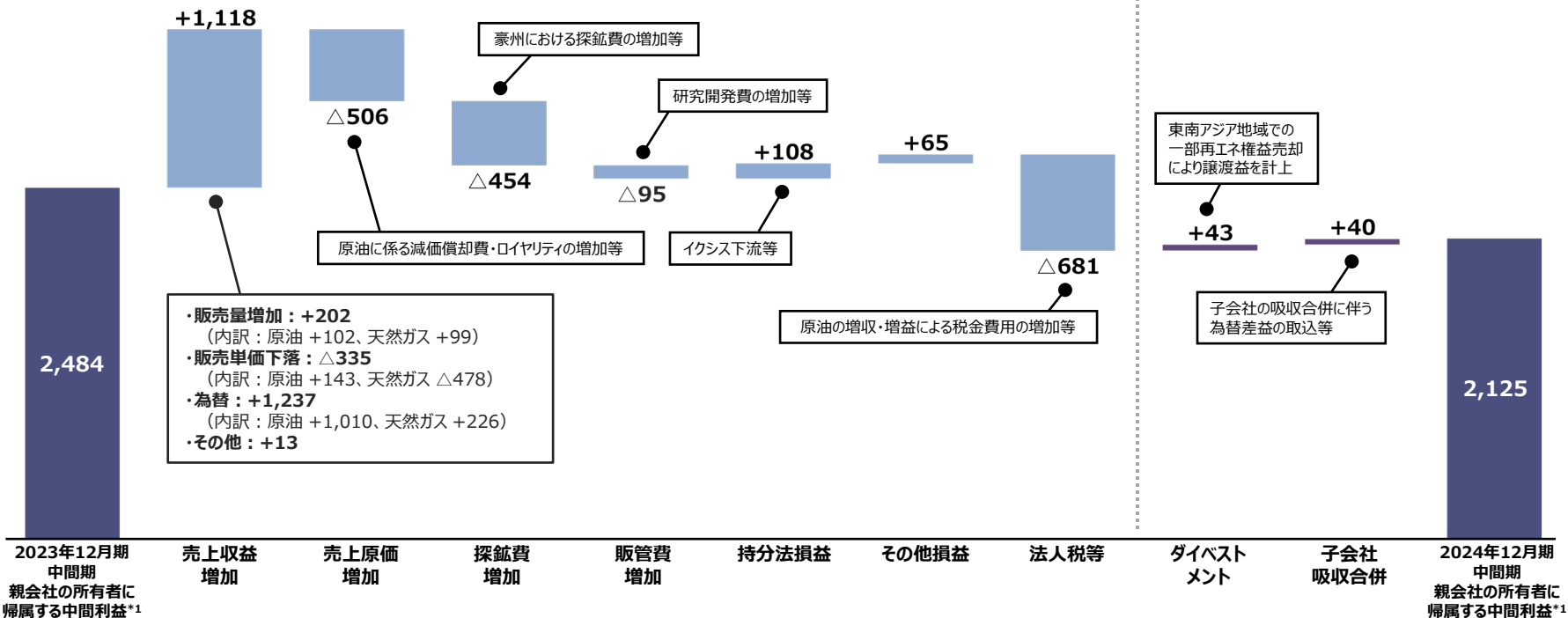
# 親会社の所有者に帰属する中間利益実績分析 (2023年12月期 中間期 vs. 2024年12月期 中間期)

(単位：億円)

△359

経常的要因\*2 △443

一過性要因\*3 +84



\*1 本スライドは、親会社の所有者に帰属する中間利益の増減要因分析の便宜上、連結損益計算書の項目を組み替えて集計しております。

\*2 経常的要因において税金影響は別掲し、非支配持分影響はその他損益に含めております。 \*3 一過性要因において税金影響及び非支配持分損益影響は各項目に含めております。

## 4. 2024年12月期 業績予想

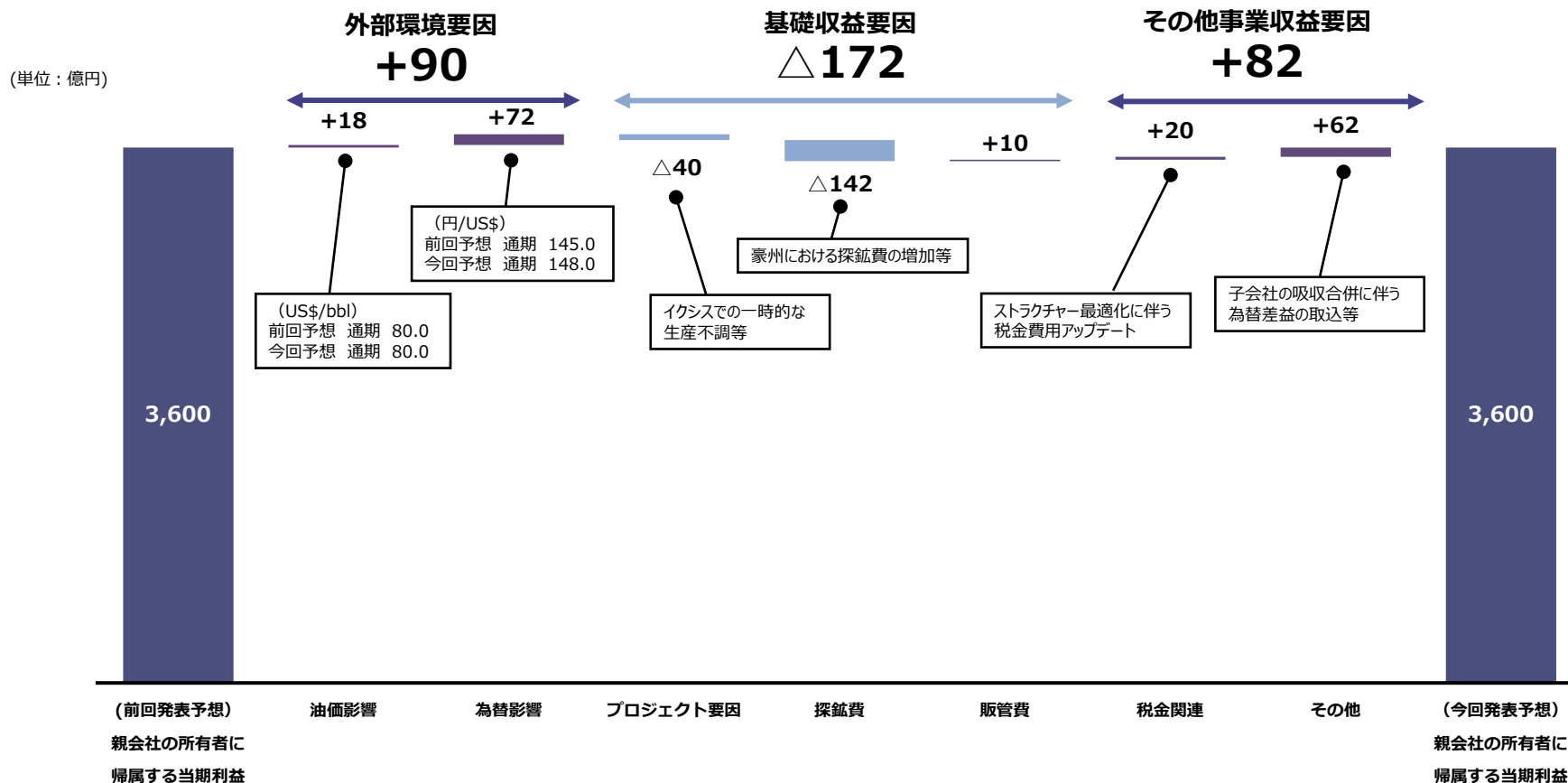
取締役 専務執行役員  
財務・経理本部長  
**山田 大介**

通期*1	前回発表予想 (2024年5月14日)	今回発表予想 (2024年8月8日)	増減	増減率
期中平均油価 (Brent) (\$/bbl)	80.0	80.0	—	—
期中平均為替 (¥/\$)	145.0	148.0	3円円安	2.1%円安
売上収益 (億円)	21,780	22,540	760	3.5%
営業利益 (億円)	12,100	12,490	390	3.2%
税引前利益 (億円)	12,410	12,820	410	3.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	3,600	3,600	—	—
ROIC (%)	7.5	7.5	—	—
ROE (%)	8.4	8.4	—	—
ネットD/Eレシオ*2	0.30	0.33	0.03	10.0%

\*1 上期実績及び下期予想については、p.24参照

\*2 今回発表より以下の通り計算式を変更  
 (変更前) {有利子負債 - (現金 + 3か月以内有価証券 + 3か月超有価証券)} ÷ 自己資本  
 (変更後) {有利子負債 + リース負債 - (現金 + 3か月以内有価証券)} ÷ 自己資本

## 親会社の所有者に帰属する当期利益 増減要因分析 (5月発表予想 vs. 今回発表予想)



# 2024年12月期 業績予想 キャッシュ・フロー\*1内訳



(億円)	①2022年12月期 実績	②2023年12月期 実績	2024年12月期 5月発表予想	③2024年12月期 今回発表予想	2022-2024年 合計 (①+②+③)
探鉱前営業キャッシュ・フロー	10,616	10,687	8,440	9,060	30,363
投資キャッシュ・フロー（探鉱投資含む）	△ 3,778	△ 5,789	△ 4,220	△ 3,880	△ 13,447
成長投資	△ 3,361	△ 3,336	△ 6,580	△ 5,550	△ 12,247
開発投資（石油・天然ガス分野）	△ 2,794	△ 2,296	△ 5,770	△ 4,680	△ 9,770
開発投資（ネットゼロ5分野）	△ 818	△ 789	△ 150	△ 150	△ 1,757
探鉱投資（石油・天然ガス分野、一部ネットゼロ5分野含む）	△ 304	△ 446	△ 780	△ 840	△ 1,590
その他（権益の売却等を含む）	555	194	120	120	869
その他（有価証券の取得・売却等を含む）	△ 417	△ 2,453	2,360	1,670	△ 1,200
フリー・キャッシュ・フロー	6,838	4,898	4,220	5,180	16,916
財務キャッシュ・フロー	△ 6,346	△ 5,639	△ 4,290	△ 5,250	△ 17,235
うち株主還元	△ 2,015*3	△ 1,901*3	△ 1,440	△ 2,300*3	△ 6,216
現金及び現金同等物の期末残高*2	2,846	2,071	2,000	2,000	-

\*1 キャッシュ・フローは共同支配企業であるイクシス下流事業会社（Ichthys LNG Pty Ltd）を含む

\*2 現金及び現金同等物とは、現預金及び3か月以内有価証券を指す（今回発表より変更）

\*3 2022年12月期：2021年12月期末配当28円及び2022年12月期中間配当30円に自己株式の取得による支出の合計  
2023年12月期：2022年12月期末配当32円及び2023年12月期中間配当37円に自己株式の取得による支出の合計  
2024年12月期：2023年12月期末配当37円及び2024年12月期中間配当43円に自己株式の取得による支出の合計（見込み）

(%)	2023年度 実績	2024年度 前回発表予想 (2024年5月14日)	2024年度 今回発表予想 (2024年8月8日)	増減
国内O&G	17.8	7.0	7.4	0.4
海外O&G イクシス	8.8	7.5	7.1	△0.4
海外O&G その他	8.1	11.8	12.6	0.8
その他	1.5	△10.1	△7.1	3.0
うち再エネ	△2.3	△1.8	△1.5	0.3
うち水素・CCUS	-	-	-	-
<b>連結</b>	8.4	7.5	7.5	△0.0

\* 各セグメントの投下資本及び調整後当期利益についてはp.27に記載

## 参考資料

# 中期経営計画の進捗

## 経営目標・事業目標



	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (中間期実績)	2024年12月期 (通期予想)	2024年12月期 中計目標	
前提条件	ブレント原油価格 (米ドル/バレル)	99.04	82.17	83.42	80.0	60ドル/バレル 70ドル/バレル
	為替 (円/米ドル)	131.64	140.66	152.36	148.0	110円/米ドル 110円/米ドル
経営目標指標	親会社の所有者に帰属する当期利益*1 <small>(2022年12月期については親会社株主に帰属する当期純利益)</small>	4,610億円	3,217億円	2,125億円	3,600億円	1,700億円 2,400億円
	探鉱前営業キャッシュ・フロー*1 <small>(イクシス下流JV込みの数値であり制度会計ベースとは異なる)</small>	10,616億円	10,687億円	5,434億円	9,060億円	6,000億円 7,000億円
	ROE*1	13.5%	8.0%		8.4%	6.0%程度 8.0%程度
	ネットD/Eレシオ*1 <small>(イクシス下流JV込みの数値であり制度会計ベースとは異なる)</small>	0.46	0.31	0.34*2	0.33*2	0.5以下 0.5以下
事業目標指標	ネット生産量 (原油換算、日量)	62.2万バレル	63.0万バレル	66.2万バレル	64.5万バレル	日量70万バレルを上回る水準へ
	バレル当たり生産コスト (ロイヤリティを除く)	5.8米ドル/バレル	5.6米ドル/バレル	4.9米ドル/バレル	5.6米ドル/バレル	5ドル/バレル以下へ向けて削減
	GHG原単位 <small>{GHG原単位 = (エクイティシェア排出量 (Scope 1+2) - オフセット) ÷ (石油・天然ガス上流事業のネット生産量+再生可能エネルギー事業の発電量)}</small>	28kg/boe	28kg/boe		28kg/boe	2030年目標の達成に向け、3年間で10% (4.1kg/boe) 以上低減 2030年目標：2019年排出原単位 41.1kg/boeから30%以上低減
	安全	重大な事故ゼロ	重大な事故ゼロ	重大な事故ゼロ	重大な事故ゼロ を目指す	重大な事故ゼロ 重大な事故：オペレーター事業における死亡事故、重大漏洩、重篤負傷

\*1 2022年12月期については日本基準。2023年12月期以降はIFRSベース。

\*2 今回発表より以下の通り計算式を変更

(変更前) {有利子負債 - (現預金 + 3か月以内有価証券 + 3か月超有価証券)} ÷ 自己資本  
(変更後) {有利子負債 + リース負債 - (現預金 + 3か月以内有価証券)} ÷ 自己資本

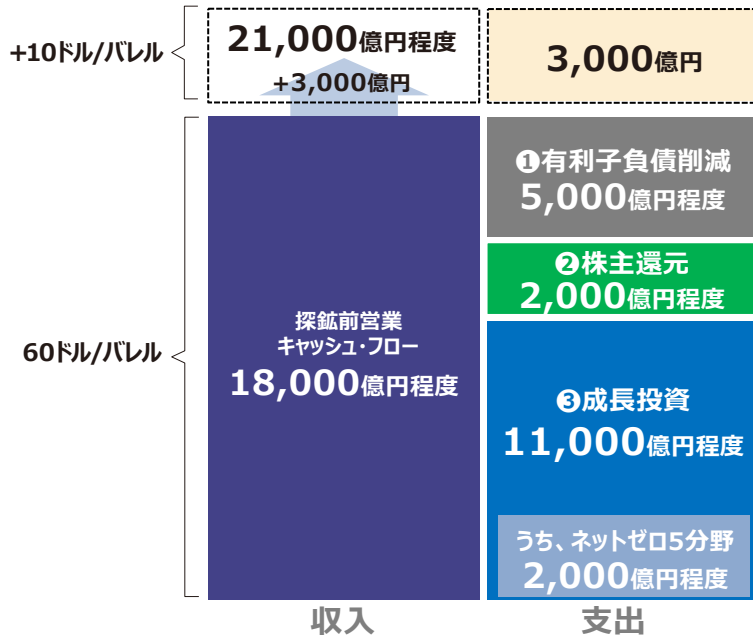


# 2024年12月期 上期実績及び下期予想

上期	前回発表予想 (2024年5月14日)	実績 (2024年8月8日)	増減	増減率
期中平均油価 (Brent) (\$/bbl)	82.5	83.42	0.92	1.2%
期中平均為替 (¥/\$)	148.0	152.36	4円36銭 円安	2.9% 円安
売上収益 (億円)	11,500	11,908	408	3.5%
営業利益 (億円)	6,660	7,000	340	5.1%
税引前利益 (億円)	6,780	7,132	352	5.2%
親会社の所有者に帰属 する当期利益 (億円)	2,050	2,125	75	3.7%

下期 (参考情報)	前回発表予想 (2024年5月14日)	今回発表予想 (2024年8月8日)	増減	増減率
期中平均油価 (Brent) (\$/bbl)	77.5	76.6	△0.9	△1.2%
期中平均為替 (¥/\$)	142.0	143.6	1円60銭 円安	1.1% 円安
売上収益 (億円)	10,280	10,632	352	3.4%
営業利益 (億円)	5,440	5,490	50	0.9%
税引前利益 (億円)	5,630	5,688	58	1.0%
親会社の所有者に帰属 する当期利益 (億円)	1,550	1,475	△75	△4.8%

中期経営計画における  
2022年-2024年（3年間）の資金配分想定  
前提：イクシス下流IJV込み、為替110円



2022年-2024年（3年間）の資金配分\*  
前提：イクシス下流IJV込み、2024年は予想  
3ヶ年平均：ブレント油価87.1ドル、為替140.1円

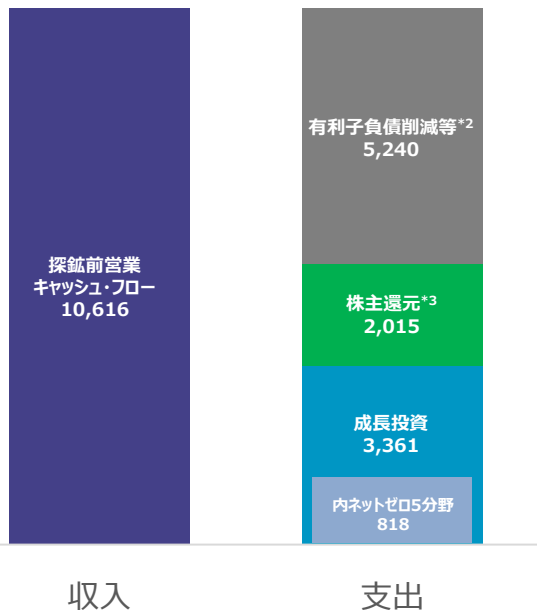


\* 資金配分の各年の内訳は、次頁参照

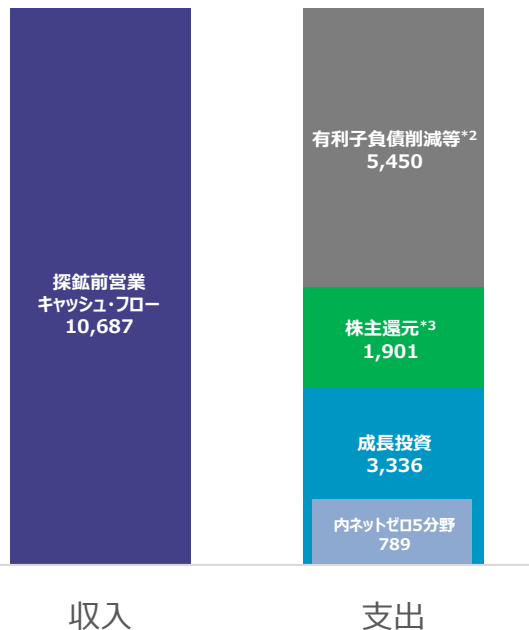
# 探鉱前営業キャッシュ・フロー\*1 資金配分実績及び業績予想

(単位：億円)

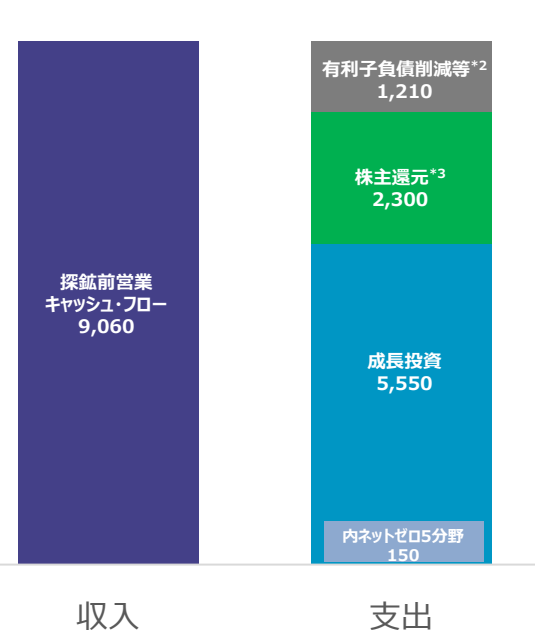
**2022年12月期 実績**  
ブレント油価99.0ドル、為替131.6円



**2023年12月期 実績**  
ブレント油価82.2ドル、為替140.7円



**2024年12月期 業績予想**  
前提：ブレント油価80.0ドル、為替148.0円



\*1 キャッシュ・フローは共同支配企業であるイクシス下流事業会社（Ichthys LNG Pty Ltd）を含む

\*2 現預金等の増減分を含む

\*3 2022年12月期：2021年12月期末配当28円及び2022年12月期中間配当30円に自己株式の取得による支出の合計  
2023年12月期：2022年12月期末配当32円及び2023年12月期中間配当37円に自己株式の取得による支出の合計  
2024年12月期：2023年12月期末配当37円及び2024年12月期中間配当43円に自己株式の取得による支出の合計（見込み）

(億円)		前回発表予想 (2024年5月14日)	今回発表予想 (2024年8月8日)	増減
国内O&G	投下資本*1	2,370	2,388	18
	調整後当期利益*2	165	177	12
海外O&G イクシス	投下資本*1	40,777	41,203	426
	調整後当期利益*2	3,044	2,907	△137
海外O&G その他	投下資本*1	13,494	13,570	76
	調整後当期利益*2	1,595	1,707	112
その他	投下資本*1	1,346	1,334	△13
	調整後当期利益*2	△136	△94	42
うち再エネ	投下資本*1	1,410	1,467	57
	調整後当期利益*2	△26	△22	4
うち水素・CCUS (研究開発費等)	投下資本*1	-	-	-
	調整後当期利益*2	△180	△167	13
連結	投下資本*1	62,922	63,044	122
	調整後当期利益*2	4,747	4,749	2

\*1 投下資本:当社連結上の資本及び有利子負債にイクシス下流事業会社のプロジェクトファイナンスを含めたものの期中平均値

\*2 調整後当期利益:支払利息、減損損失等、非支配持分に帰属する当期損益控除前の当期損益

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
LNG	11	104	122	117	112	129
プラントコンデンセート (陸上)	1	19	22	21	21	23
フィールドコンデンセート (海上)	4	29	34	32	29	29
LPG	2	27	34	32	30	34

2024年度 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
LNG	10	12	12	10	11	11	10	-	-	-	-	-	76
プラントコンデンセート (陸上)	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	14
フィールドコンデンセート (海上)	3	2	3	3	2	3	2	-	-	-	-	-	18
LPG	3	2	4	2	3	3	3	-	-	-	-	-	20

# 要約連結財政状態計算書

(億円)	2023年12月期末	2024年12月期 中間期末	増減	増減率
流動資産	8,384	11,199	2,814	33.6%
非流動資産	59,010	66,457	7,446	12.6%
（うち石油・ガス資産）	36,015	39,886	3,870	10.7%
（うち持分法で会計処理されている投資）	7,519	9,472	1,953	26.0%
（うち貸付金）	13,065	14,482	1,417	10.8%
<b>資産合計</b>	<b>67,394</b>	<b>77,656</b>	<b>10,261</b>	<b>15.2%</b>
流動負債	5,722	7,780	2,058	36.0%
非流動負債	16,682	17,439	756	4.5%
資本	44,990	52,436	7,446	16.6%
（うち在外営業活動体の換算差額）	6,949	12,756	5,806	83.5%
期末為替（円/ドル）	141.82	161.14	19.32	13.6%
（うち非支配持分）	2,899	3,165	266	9.2%
<b>負債・資本合計</b>	<b>67,394</b>	<b>77,656</b>	<b>10,261</b>	<b>15.2%</b>
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	3,345.22	3,948.66	603.44	18.0%

イクシス下流事業会社（共同支配企業）の要約財務情報（100%ベース、うち当社出資比率は67.82%）は以下のとおり。

・流動資産	1,945億円
・非流動資産*	4兆8,419億円
・流動負債	3,879億円
・非流動負債	3兆4,934億円
・資本	1兆1,551億円

\* 非流動資産はFID前投資、借入金の支払利息分等が含まれる。

うち、有利子負債の合計は1兆3,005億円。これに、オフバランスのイクシス下流事業会社分を加えた当社のネット有利子負債\*1は1兆6,741億円（ネットD/ELレシオ\*2 0.34倍）。

2024年12月期末の予想は以下のとおり。

- ・ 在外営業活動体の換算差額 6,553億円
- ・ 期末為替 140.0円/ドル

\*1 今回発表より以下のとおり計算式を変更  
 (変更前) 有利子負債 - (現預金 + 3か月以内有価証券 + 3か月超有価証券)  
 (変更後) 有利子負債 + リース負債 - (現預金 + 3か月以内有価証券)

\*2 今回発表より以下のとおり計算式を変更  
 (変更前) (有利子負債 - (現預金 + 3か月以内有価証券 + 3か月超有価証券)) ÷ 自己資本  
 (変更後) (有利子負債 + リース負債 - (現預金 + 3か月以内有価証券)) ÷ 自己資本

# 要約連結損益計算書

(億円)	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率
<b>売上収益</b>	<b>10,789</b>	<b>11,908</b>	<b>1,118</b>	<b>10.4%</b>
売上原価	△ 4,253	△ 4,731	△ 478	11.2%
<b>売上総利益</b>	<b>6,536</b>	<b>7,176</b>	<b>640</b>	<b>9.8%</b>
探鉱費	△ 39	△ 494	△ 454	—
販売費及び一般管理費	△ 502	△ 598	△ 95	19.0%
その他の営業収益	141	197	56	39.5%
その他の営業費用	△ 121	△ 59	62	△ 51.4%
持分法による投資損益	58	777	719	—
<b>営業利益</b>	<b>6,072</b>	<b>7,000</b>	<b>928</b>	<b>15.3%</b>
金融収益	1,414	828	△ 586	△ 41.5%
金融費用	△ 392	△ 696	△ 304	77.5%
<b>税引前中間利益</b>	<b>7,095</b>	<b>7,132</b>	<b>37</b>	<b>0.5%</b>
法人所得税費用	△ 4,544	△ 5,022	△ 477	10.5%
非支配持分に帰属する中間利益	65	△ 16	△ 81	—
<b>親会社の所有者に帰属する中間利益</b>	<b>2,484</b>	<b>2,125</b>	<b>△ 359</b>	<b>△ 14.5%</b>

販売量の増加	+202
販売単価の下落 為替	△335 +1,237
その他	+13

原油売上原価： (増減)	△3,148 △414
天然ガス売上原価： (増減)	△1,486 △51

# その他営業収益・費用 / 金融収益・費用

(億円)	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率	備考
<b>その他の営業収益</b>	<b>141</b>	<b>197</b>	<b>56</b>	<b>39.5%</b>	
為替差益	—	33	33	—	
その他	141	164	22	15.8%	
<b>その他の営業費用</b>	<b>△ 121</b>	<b>△ 59</b>	<b>62</b>	<b>△ 51.4%</b>	
為替差損	△ 92	—	92	△ 100.0%	
その他	△ 29	△ 59	△ 29	101.5%	
<b>金融収益</b>	<b>1,414</b>	<b>828</b>	<b>△ 586</b>	<b>△ 41.5%</b>	
受取利息	446	645	199	44.7%	
受取配当金	37	51	14	36.9%	
認識の中止を伴わない金融資産の条件変更等から生じる利益 <sup>*1</sup>	927	108	△ 818	△ 88.3%	金融資産の再評価関連収益 <sup>*1</sup>
その他	2	21	18	618.6%	
<b>金融費用</b>	<b>△ 392</b>	<b>△ 696</b>	<b>△ 304</b>	<b>77.5%</b>	
支払利息	△ 363	△ 527	△ 164	45.1%	
その他	△ 28	△ 168	△ 140	488.1%	デリバティブ評価損 <sup>*2</sup> 含む

\*1 イクシプロジェクト関連の在外子会社が適用するIFRS第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更及び金融資産の見積将来キャッシュ・フローの改定等から生じた収益。共同支配企業との取引から生じた金額を含むため、持分法による投資損益及び税効果を加味した親会社の所有者に帰属する中間利益への影響は軽微であります。

\*2 当社グループでは、石油・天然ガス生産施設等の将来の生産終了後に必要となる廃鉱作業に関連して発生する費用の現在価値の見積り額を資産除去債務として計上しており、毎期末での当該現在価値の算定に用いる割引率の変動に伴い損益が生じることがあります。当該損益影響を中立化すべく、当社グループは当期よりデリバティブ取引（金利スワップ）を用いております。当該デリバティブ取引に関して発生したデリバティブ評価損益は金融収益・費用として計上されますが、中立化対象である資産除去債務の算定過程で生じた損益影響と相殺された結果、親会社の所有者に帰属する中間利益への影響は軽微であります。



# 2024年12月期 中間期 売上収益



(億円)		製品	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率
O&G	日本	原油	25	22	△ 2	△ 11.5%
		天然ガス (LPGを除く)	1,323	1,013	△ 309	△ 23.4%
		その他	36	35	△ 1	△ 3.2%
		<b>小計</b>	<b>1,385</b>	<b>1,071</b>	<b>△ 313</b>	<b>△ 22.7%</b>
	豪州・東南アジア	原油	1,013	1,150	137	13.5%
		天然ガス (LPGを除く)	1,467	1,667	199	13.6%
		その他	28	32	4	14.7%
		<b>小計</b>	<b>2,509</b>	<b>2,849</b>	<b>340</b>	<b>13.6%</b>
	欧州	原油	441	448	7	1.6%
		天然ガス (LPGを除く)	155	112	△ 42	△ 27.5%
		その他	1	1	△ 0	△ 8.6%
		<b>小計</b>	<b>597</b>	<b>561</b>	<b>△ 35</b>	<b>△ 6.0%</b>
	アブダビ及びその他 (中東、NIS諸国等)	原油	6,148	7,242	1,093	17.8%
		天然ガス (LPGを除く)	8	10	1	22.1%
		その他	0	-	△ 0	△ 100.0%
		<b>小計</b>	<b>6,157</b>	<b>7,253</b>	<b>1,095</b>	<b>17.8%</b>
その他	原油	36	58	21	59.2%	
	天然ガス (LPGを除く)	9	9	△ 0	△ 5.5%	
	その他	93	104	10	11.6%	
	<b>小計</b>	<b>140</b>	<b>171</b>	<b>31</b>	<b>22.8%</b>	
合計	原油	7,665	8,921	1,256	16.4%	
	天然ガス (LPGを除く)	2,965	2,813	△ 151	△ 5.1%	
	その他	159	173	13	8.5%	
	<b>合計</b>	<b>10,789</b>	<b>11,908</b>	<b>1,118</b>	<b>10.4%</b>	

製品		2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率	
O&G	日本	原油 (千bbl)	239	183	△ 55	△ 23.1%
		天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	48,338	49,295	958	2.0%
	豪州・東南アジア	原油 (千bbl)	9,273	8,998	△ 276	△ 3.0%
		天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	187,484	195,954	8,471	4.5%
	欧州	原油 (千bbl)	3,863	3,397	△ 467	△ 12.1%
		天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	8,278	8,118	△ 160	△ 1.9%
	アブダビ及びその他 (中東、NIS諸国等)	原油 (千bbl)	56,326	58,057	1,731	3.1%
		天然ガス (LPGを除く)	5,284	5,326	42	0.8%
	その他	天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	172	181	9	5.0%
	合計	原油 (千bbl)	69,701	70,635	934	1.3%
天然ガス (LPGを除く) (百万cf)		249,555	258,874	9,319	3.7%	

# 2024年12月期 中間期 生産実績\*

製品		2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減	増減率	
O&G	日本	原油 (千bbl)	471	416	△ 55	△11.7%
		天然ガス (百万cf)	17,582	15,460	△ 2,121	△12.1%
		ヨウ素 (ton)	281	279	△ 2	△0.9%
		発電 (百万KWh)	103	94	△ 9	△8.8%
	豪州・東南アジア	原油 (千bbl)	9,076	8,920	△ 156	△1.7%
		天然ガス (百万cf)	216,278	233,773	17,494	8.1%
	欧州	原油 (千bbl)	4,173	3,319	△ 854	△20.5%
		天然ガス (百万cf)	7,873	8,154	281	3.6%
	アブダビ及びその他 (中東、NIS諸国等)	原油 (千bbl)	56,572	57,906	1,334	2.4%
		天然ガス (百万cf)	5,173	5,330	157	3.0%
硫黄 (千t)		64	80	16	24.5%	
その他	発電 (百万KWh)	724	1,113	389	53.8%	
合計	原油 (千bbl)	70,292	70,560	269	0.4%	
	天然ガス (百万cf)	246,906	262,718	15,812	6.4%	
	ヨウ素 (ton)	281	279	△ 2	△0.9%	
	硫黄 (千t)	64	80	16	24.5%	
	発電 (百万KWh)	827	1,207	380	46.0%	

\* 海外で生産されたLPGは原油に含む



## [サステナビリティレポート2023](#)

- 特集記事として当社の「エナジートランジション」及び「デジタル化」の取組みを掲載
- 生物多様性及び自然保全に関する当社の取組みの開示を拡充



## [統合報告書 | INPEX](#)

- 気候変動対応、HSE（健康・安全・環境）、人的資本について担当役員のメッセージを掲載
- 社外取締役座談会を実施すると共に指名・報酬諮問委員会委員長（柳井社外取締役）のメッセージを掲載
- コーポレートガバナンス強化の変遷を年表にして紹介